

男女平等を目指すうえで

中札内中学校一年 飯沼 実希

「男女平等なんて余裕じゃない？」

幼い頃の私はそういった。私は、満たされて

いた。放課後、友達の男子と毎日遊んでいた。

少なくとも私と男子たちの間柄は、「男女平

等」と言えた。

六年生になってみんなは、思春期になった。

係活動の時、信じられないことが起きた。ポ

スターのイラストを書く人を決めることにな

った。同じ係の子が言った。

「男子は、絵なんかかけないでしょ。」

そういつてその子は、女子の中で絵を書く人

を決め始めた。これはいけない。こんなのは、

不平等だと思った。でも、その時、私は、そ

れを言葉に出すことは、できなかった。だっ

て誰かが口に出してくれると思ったから。

次の日、ずうっともやもやしていた。男女

が平等に作業できると思っていた。だって私

が 読 ん だ 。 そ こ に は 、 そ ん な 時 、 あ る 漫 画 の 名 言 を  
「 あ な た が 何 か し な い と 、 何 も 変 わ ら な い 。」  
と 、 書 い て あ っ た 。 心 の 核 心 を つ つ か れ た 気  
持 ち に な っ た 。  
次 の 会 議 の 時 、  
「 男 子 は 、 絵 、 書 き た い 人 い な い の ？ 」  
と 、 提 案 し て み た 。 一 人 の 男 の 子 が 、 手 を 挙  
げ た 。 後 か ら 聞 く と 、 そ の 子 も リ ー ダ ー と し  
て の プ レ ッ シ ャ ー が あ り 、 焦 っ て あ の よ う な  
い い 方 を し て し ま っ た ら し い 。 私 は 、 も の す  
ご く 安 心 し た 。  
私 が こ の 経 験 か ら 学 ん だ の は 、 自 分 自 身 が  
行 動 し な け れ ば 何 も 得 ら れ な い と い う こ と だ 。  
男 女 平 等 を 言 葉 に 出 す の は 、 簡 単 だ け ど 、 そ  
れ を 実 現 す る こ と は 、 一 人 だ と 難 し い 。 だ か  
ら こ そ み ん な が 力 を 合 わ せ る こ と が 大 切 だ と  
思 う 。 中 学 一 年 生 に な っ た 今 、 友 達 に 私 は 、  
こ う い っ た 。

「  
み  
ん  
な  
が  
協  
力  
し  
た  
ら  
、  
男  
女  
平  
等  
な  
ん  
て  
余  
裕